

平成 27 年 4 月 8 日

各 位

公益財団法人経営者顕彰財団
株式会社 西日本シティ銀行

平成26年度「第42回経営者賞」受賞者決定のお知らせ

公益財団法人 経営者顕彰財団（理事長 久保田勇夫）は、九州・山口地方において産業の開発、経済・文化の発展に寄与する中小企業及びその経営、技術に関する貢献者を毎年表彰いたします。

標記表彰について平成 26 年度の受賞者が決定しましたのでお知らせいたします。

表彰式を平成 27 年 4 月 23 日に開催しますので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 「第42回経営者賞」受賞者

■「第42回経営者賞」 ※賞状、副賞を贈呈

受賞者氏名・肩書・企業名	地域	受賞理由
伊東 鐘賛 創生会グループ 代表	福岡市 (福岡県)	<ol style="list-style-type: none">同会は、介護福祉という言葉が一般的ではなかった昭和 48 年に福岡市初の介護事業者として事業を開始し、42 年にわたり高齢者福祉事業に従事。平成 10 年に介護保険制度が導入されたのを契機に株式会社創生事業団を設立、以降グループ全体で介護老人福祉施設、住宅型有料老人ホームやケアハウスなど多岐にわたる介護サービスを福岡・長崎の九州地域に展開。現在、東京・神奈川等関東地域に事業を拡大させている。今後迎える超高齢化社会に向け、高齢者の様々なニーズや希望に合わせた安心できる生活の実現や海外における日本の介護事業の普及、被災地や元受刑者の雇用確保などに積極的に取り組んでおり、介護事業の発展のみならず日本社会全体を見据えた先見性と行動力を持っている。

<p>末次 広憲 すえつぐ ひろのり</p> <p>株式会社平和マネキン 代表取締役社長</p>	<p>別府市 (大分県)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 同社は、創業 65 年の大分県内でもトップクラスの優良企業であり、主業務のマネキン・什器の製造・販売・レンタルにとどまらず、長年の経験とノウハウを活かし、店舗ディスプレイ・内装工事で顧客の信頼を獲得。国内はもとより、海外著名ブランドの日本国内におけるディスプレイを請け負う等、日本の力を海外へ発信している企業である。 営業とデザイン、商品企画の拠点は現在東京であるが、創業の地・別府に育ててもらったという感謝の念から、現在も本社を別府に置き、地域の雇用や様々な地域貢献活動で地元への社会還元をしている。 末次氏が 2 代目となってから、東京へ進出し店舗デザイン等空間を演出し付加価値を高め、世界ブランドへの進出するまでに同社を大きく発展させている。
<p>米澤 育朝 よねざわ ふきとも</p> <p>株式会社ヨネザワ 代表取締役</p>	<p>熊本市 (熊本県)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 同社は、昭和 49 年に小さな眼鏡屋からスタートし、効率よりも顧客の立場に立ったサービスを徹底して貫く小商圈主義を実践して店舗を増やし、今では「メガネのヨネザワ」の屋号で九州を代表するメガネ小売店として、九州を中心に 172 店舗を展開するまでに成長している。 米澤氏は、地域に根ざした商売にこだわり続ける商売人であると同時に、生まれつきの障がいを乗り越えた経験を教訓に、地域社会貢献についても積極的に実践している。 子ども達への奉仕活動として、現在代表理事として運営している城北幼稚園、西日本教育医療専門学校、水前寺高等学園等は、地域になくてはならない教育機関となっている。 また、キワニスクラブ（世界三大奉仕団体）の熊本支部第 2 代会長を現在務めている。

2.「第42回経営者賞表彰式」開催概要

「第42回経営者賞」の授賞式を以下の要領にて開催いたします。

日 時	平成27年4月23日(木) 11:00~13:00 (受付開始 10:30)
場 所	グランドハイアット福岡3階「ザ・グランド・ボールルーム」 (福岡市博多区住吉1-2-82)
内 容	○ 授賞式、祝賀会 「第42回経営者賞」表彰及び受賞者の方々の活動紹介と祝賀会
定 員	約100名(招待者のみ)
主 催	公益財団法人経営者顕彰財団
共 催	株式会社西日本シティ銀行

【参考】

平成26年度候補者推薦状況

九州・山口地方の各県・政令指定都市の行政機関、商工会議所、新聞社、西日本シティ銀行本支店等から平成26年10月末までに推薦を受けた候補の状況は以下のとおりです。

<県別>

	佐賀	熊本	宮崎	長崎	大分	鹿児島	山口	合計
22	2	2	—	1	1	—	1	29

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人経営者顕彰財団 事務局 河部・井口

TEL 092-472-1676